



議 会 報

みはる

第154号

平成30年11月1日

発 行



9月定例会提出議案…P2 9月定例会審議結果一覧……………P6 9月定例会一般質問……………P8
議会活動日誌……………P15 視察研修レポート……………P16 議会クイズ……………P19

(写真：三春町小学校陸上交歓会の100m走スタートダッシュ)

町長提出18議案、

議員提出3議案を可決・認定等

9月
定例会



姉妹都市30周年記念事業
ライスレイク市での盆踊りのようす

一般会計の歳入額は75億4,036万円で、前年度と比べ9、418万円、1.2%の減となり、歳出額は71億6,187万円で、前年度と比べ4,068万円、0.6%の減となりました。一般会計の決算額は、歳入・歳出ともに前年度を下回りました。特別会計では、国民健康保険特別会計の歳入、放射性物質対策特別会計の歳入・歳出ともに前年度を下回りましたが、それ以外の

特別会計は、歳入・歳出ともに前年度を上回りました。実質収支(※)は、一般会計で3億7,069万円となり、このうち2億7,000万円は財政調整基金(※)に積み立てました。町の借金である町債の発行額は、4億9,590万円で、前年度比1億260万円の減となりました。償還額は、6億4,979万円で、前年度比1,588万円の減であり、年度末残高は71億3,200万円となり、前年度から1億5,389万円減少しました。



有森裕子さんも参加した昨年のさくら湖マラソン大会

9月定例会では、平成29年度各会計の決算を審査し認定しましたので、決算の概要をお知らせします。

一般会計の歳入額は75億4,036万円で、前年度と比べ9、418万円、1.2%

の減となり、歳出額は71億6,187万円で、前年度と比べ4,068万円、0.6%の減となりました。

一般会計の決算額は、歳入・歳出ともに前年度を下回りました。

特別会計では、国民健康保険特別会計の歳入、放射性物質対策特別会計の歳入・

歳出ともに前年度を下回りましたが、それ以外の

特別会計は、歳入・歳出ともに前年度を上回りました。

平成29年度各会計決算を認定

9月定例会は8月31日から9月11日まで開催され、町長から平成29年度各会計決算認定をはじめ、町税条例等の一部改正、各会計補正予算など18議案が提出され、審議の結果、全議案全会一致で可決・認定等されました。

また、地方財政の充実強化や町、県、国に対し学校給食の無料化を求める陳情(以下それぞれ「町、県、国への陳情」という。)4件が提出されました。そのうち、地方財政の充実強化及び県と国への

陳情2件は採択され、本会議に提出されました。審議の結果、全会一致で可決され、関係機関に意見書を送付しました。ただし、町への陳情は、町の財政負担が大きくなるなどの理由により、不採択となりました。

主な議案、審査内容をお知らせします。議案の正式名称は、6ページの議案一覧をご覧ください。また、平成29年度各会計決算の詳細な内容は、「広報みはる10月号」に掲載されています。

※ 実質収支・・・同年度の収入と支出の実質的な差額

※ 財政調整基金・・・年度間の財政の不均衡を調整するための基金

決算

◆平成29年度町一般会計歳入歳出決算認定

平成29年度の歳入歳出決算の内容を報告する。

問 経済対策に盛り込まれた簡素な給付措置とは。

答 厚生労働省の事業で、低所得者1人当たり1万5千円を支給するもの。

問 三春交流館「まほら」の交差点から、きたまち蔵の看板が見えにくいのでは。

答 業務委託のため成果品が納品さ

答 観光案内所として、目立つ看板を設置したい。

問 役場庁舎他新築工事基本設計業務委託料3,910万円は、契約後の精査により減額されることはあるのか。

答 業務委託のため成果品が納品さ

れば、契約どおりの支払いとなる。

問 高齢者社会参加ポイント制度において、963名登録で445名にしか商品券が交付されていないのはなぜか。

答 ポイントが10個以上なければ、商品券の交付申請ができないためである。

問 非常備消防費で、旅費383万円の内容は。

答 消防団員による火災出動等に対する支払いである。

問 田村地方夜間診療所の三春町の利用者数は。

答 約100人で、全体の1割弱である。

問 三春交流館「まほら」の音響設備を修繕した理由は。

答 以前から、スピーカーを通してえづらという声があった



ポイント対象となるグラウンドゴルフ大会

ため、設備の改修工事を行った。

問 キャリア教育で取り組んでいる内容は。

答 中学生は職場体験を行っている。また、英語検定や漢字検定に取り組んでいる。

問 図書館司書は全校に配置しているのか。配置していない場合は各校を回るのか。

答 三春中学校に配置し、他校は回らない。他校には図書担当教員がいる。



平成29年度 各会計決算額

区分		歳入額	歳出額	差引額	
一	一般会計	75億4,036万円	71億6,187万円	3億7,849万円	
特別会計	国民健康保険	23億1,092万円	22億5,583万円	5,509万円	
	後期高齢者医療	1億7,867万円	1億7,828万円	39万円	
	介護保険	17億6,817万円	16億9,328万円	7,489万円	
	町営バス事業	8,024万円	8,024万円	—	
	放射性物質対策	5億4,467万円	5億4,467万円	—	
企業会計	水道事業	収益的	4億1,640万円	3億7,441万円	4,200万円
		資本的	4,672万円	2億0,955万円	△1億6,283万円
	下水道事業等	収益的	3億8,192万円	4億1,973万円	△3,781万円
		資本的	2億 218万円	2億3,979万円	△3,761万円
	宅地造成事業	収益的	172万円	618万円	△446万円
病院事業	収益的	6,188万円	7,856万円	△1,668万円	
	資本的	—	4,743万円	△4,743万円	

※ 端数処理の関係で歳入金額から歳出金額を差し引いた額が、差引額と一致しない場合があります。

一般会計予算

74億5,611万円に補正

補正予算

◆ 町一般会計（第2号）

歳入は、民生費負担金、繰越金、消防債等の追加と、地方交付税、土木費国庫補助金、土木債等の減額である。

歳出は、財産管理費、災害救助費、道路維持費等の追加と、保育所費、林業振興費、公営住宅費等の減額である。

問 宅地造成奨励金は何区画分か。

答 貝山地区内7区画と下舞木地区内5区画を予定している。

問 7月から始まったアートクリエイティブの目的は。

答 ター教室の参加者は何人が。

答 延べ20〜30人である。

問 交通安全防犯対策費の区画線工事の目的は。

答 「売れる！大豆・麦・そば魅力ある産地づくり事業補助金」について、どの品目がどの程度増えたのか。

答 大豆が増えている。面積は当初計画より倍程度増え、作付面積は11から12haである。

問 三春小学校調理室床の修繕は、何日かかるのか。

答 学校が休みの時に実施できる見込みである。

問 狭い道路を30キロ規制にする。町道北町荒町線の国道288号線から入った、歩道部分140mを青く塗装する。

答 人通りが多く、狭い道路を30キロ規制にする。町道北町荒町線の国道288号線から入った、歩道部分140mを青く塗装する。



塗装される北町荒町線の歩道



7月に開催されたアートクリエイター教室

平成30年度 各会計予算規模

会計名		補正前の額	補正額	補正後の額	
一	般 会 計	70億9,194万円	3億6,417万円	74億5,611万円	
特 別 会 計	国民健康保険	16億5,672万円	1,844万円	16億7,517万円	
	後期高齢者医療	1億8,498万円	—	1億8,498万円	
	介護保険	17億5,094万円	6,618万円	18億1,711万円	
	町営バス事業	9,454万円	—	9,454万円	
	放射性物質対策	27億2,501万円	887万円	27億3,388万円	
企 業 会 計		収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
	水道事業	4億 987万円	4億1,016万円	2,793万円	2億7,214万円
	下水道事業等	3億7,537万円	4億8,454万円	2億 100万円	2億8,872万円
	宅地造成事業	3,697万円	5,135万円	2,100万円	1億2,100万円
	病院事業	6,903万円	1億1,431万円	—	4,785万円

※ 企業会計は、内部留保資金を活用しているため、収入・支出の金額は一致していません。

※ 収益的収入および支出とは通常の営業活動を行うための予算で、資本的収入および支出とは施設整備に係る予算。

※ 端数処理の関係で補正前の額と補正額を加算した額が、補正後の額と一致しない場合があります。

条例

◆ 町税条例等の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律等が4月1日から施行されたため、条例の一部を改正する。

税収への影響は

問 条例改正に伴う税収への影響はあるのか。

答 たばこ税の改正により税収が減少するかもしれないが、大きな影響はない。

財産

下舞木地内にある旧岩江分団第3部屯所の用途を廃止したので、譲渡希望者に無償譲渡する。

町所有物として価値がなくなったのか

問 町の所有物としては、価値がないと判断したのか。

答 用途廃止済みの建物であり、解体にも費用がかかるため、財政面を考慮して無償譲渡する。



旧岩江分団第3部屯所

人事

◆ 教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めること
教育委員会委員の宮田美穂氏の任期が平成30年9月30日で満了となるため、引き続き同氏を委員として任命する。

◆ 人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めること
人権擁護委員の服部郁子氏が平成30年12月31日に辞任するため、新たに渡邊絹子氏を委員として推薦する。



陳情

◆ 地方財政の充実・強化を求める陳情

陳情者 日本労働組合総連合会福島県連合会

田村地区連合会 議長 白岩 進一郎

結果 採択

問 三春町の交付税は、どのような理由でいくら減ったのか。

答 約1億6千万円減っている。算定において、基準財政収入額の見込みの考え

方が国と異なり、予算割れとなっている。歳出削減の努力はしているのか。

答 努力している。

◆ 町に対し学校給食の無料化を求める陳情

◆ 県に対し学校給食の無料化を求める陳情

◆ 国に対し学校給食の無料化を求める陳情

陳情者 新日本婦人の会郡山支部さくら湖班

代表 伊藤 美代子

結果 町に対する陳情は不採択

県・国に対する陳情は採択

〈町陳情への意見〉

意 無償化は、現在の町財政では難しい。保護者には、最小限の食料負担は必要である。要保護児童等への支援策もあるので、給食に対する保護者の協力は必要である。

意 滞納は無いため、当面現状のままとし、国や県内市町村の動向を見て考えるべきである。

意 子育て支援、少子化の中で軽減できるものは、軽減してほしい。

〈県・国陳情への意見〉

意 町がやらないで、県、国に要望することには矛盾を感じるが、県、国が考えてくれるなら要求すべきである。

意 所得のある人まで無償化することは反対である。



採択された陳情は、本会議に議案として提出され、審議の結果、可決され関係機関に意見書を提出しました。

9月定例会提出議案および審議結果一覧

町長から提出された18議案と、議員から提出された3議案の審議結果は次のとおりです。

<町長提出議案>

区分	付議案件	結果
決算	平成29年度三春町一般会計歳入歳出決算認定について	認定
	平成29年度三春町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
	平成29年度三春町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
	平成29年度三春町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
	平成29年度三春町町営バス事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
	平成29年度三春町放射性物質対策特別会計歳入歳出決算認定について	認定
	平成29年度三春町病院事業会計歳入歳出決算認定について	認定
	平成29年度三春町水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び歳入歳出決算認定について	可決及び認定
	平成29年度三春町下水道事業等会計歳入歳出決算認定について	認定
	平成29年度三春町宅地造成事業会計歳入歳出決算認定について	認定
補正予算	平成30年度三春町一般会計補正予算（第2号）について	可決
	平成30年度三春町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	可決
	平成30年度三春町介護保険特別会計補正予算（第2号）について	可決
	平成30年度三春町放射性物質対策特別会計補正予算（第2号）について	可決
条例	三春町税条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
財産	財産の無償譲渡について	可決
人事	教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	同意
	人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	適任

<議員提出議案>

区分	付議案件	結果
陳情	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	可決
	県に対し「学校給食費の無料化を求める意見書」の提出について	可決
	国に対し「学校給食費の無料化を求める意見書」の提出について	可決

※ ■の議案は、審査内容の一部を3ページから5ページに掲載しています。

9月定例会議員別の賛否一覧

採決結果がわかれた陳情事件の賛否を掲載します。 ○：賛成（採択） ●：反対（不採択）

議員名 件名	賛成 反対	新田	本	陰	松	山	鈴	佐	渡	三	佐	小	橋	影	日	影
		田	田	山	村	崎	木	藤	辺	瓶	久	林	本	山	下	山
		信	忠	丈	妙	ふ	利	一	正	文	正	鶴	善	常	部	初
		二	良	夫	子	じ	一	八	久	博	俊	夫	次	光	三	吉
町に対し学校給食費の無料化を求める陳情	1:13	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	欠席	●	●

※ 議長は、採決に加わっていません。
 ※ 不採択となったため、議案として提出されていません。



特別委員会調査報告

9月定例会に開催された特別委員会の調査概要をお知らせします。

町立学校再編等調査特別委員会

〈岩江小学校調査〉

9月11日に、教育長、教育次長、岩江小学校長、建設課工事担当者などが同席して、現在実施している岩江小学校外壁改修工事を現地調査しました。

初めに、工事担当者から、改修工事の目的や概要、進捗状況、今後の予定等についての説明を受けました。その後、外壁のひび割れの状況や対応策、工事費及びその財源などについて聞き取りを行いました。

また、改修工事により、塗料のにおいによる子どもや、給食室への悪影響がないかどうか調査しました。岩江小学校長から、窓には目張りがされ、エアコンを使用しているので教室内でのにおいを感じることはなく、給食にも問題はない、また、足場を組んでいるので安全のため外には出ないよう指導し、保護者に対してホームページ等で工事していることを周知しているとの説明がありました。



岩江小学校外壁改修工事の現地調査

広報広聴特別委員会

〈議会報みはる「モニター」〉

8月1日に発行した「議会報みはる」第153号に対して、7名の「議会報みはる」モニターから寄せられた感想、意見等を確認し、今後の議会報の編集・発行に当たり、どのように反映させるか協議しました。

〈議会報みはる「第154号の編集・構成」〉
 表紙は、9月12日に開催される三春町小学校陸上交歓会のようなとしました。

全体構成は、9月定例会の内容を中心に、常任委員会の視察研修や、10月23日開催の町村議会議員研修会のような、さらに、すでに開催された議長杯ソフトボール大会や、グラウンド・ゴルフ大会のようなものを掲載することとしました。

〈町民と議会との意見交換会〉

今年の意見交換会の進め方や、配布資料などについて協議しました。

また、現時点での申込件数が1件と少ないことから、各種団体に対し働きかけるよう、各議員にお願いすることとしました。



昨年の意見交換会のような

町政を問う

一般質問に6人登壇

議会では、開かれた議会の一環として、6月と9月の定例会の一般質問は、休日等に開催しています。今回は、9月1日（土）に一般質問を行い、6名の議員が町政全般について、町執行側に対し質問しました。

当日は、4階議場やスクリーンを設置した3階会議室では、60名を超える傍聴者の皆さんが議員による質問と執行者の答弁のようすに、熱心に耳を傾けていました。

一般質問と答弁の概要をお知らせします。



多くの傍聴者のもとで行われた一般質問

山崎 ふじ子 議員 …… P9

- ① 町水道水の安全安心について
- ② 三春町のマスコットキャラクターのこまりんについて

松村 妙子 議員 …… P12

- ① QRコードを使った認知症・徘徊対策について
- ② 学校等施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保について

鈴木 利一 議員 …… P10

- ① 視覚障がい者に対するバリアフリーの推進について
- ② 障がい者の雇用・就業の促進について

小林 鶴夫 議員 …… P13

- ① 町営住宅の現状と将来について

新田 信二 議員 …… P11

- ① 町道整備・補修・舗装の改修工事について
- ② 愛姫 生誕450年記念の年を迎え今後の取組みについて
- ③ 三春町の長寿社会における健康づくりについて

影山 初吉 議員 …… P14

- ① 待機児童対策と第2保育所の今後の運営について
- ② 三春町保育所、幼稚園のあり方について

※ ○の番号の質問を掲載しています。

一般質問とは

定例会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることで、単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。



山崎 ふじ子 議員

町水道水の 安全安心

問 田村市の汚染土壌は安全な管理か

答 適正に管理している

質問

町水道水の安全安心について、
① 田村市大越町の住友大阪株式会社工場跡



工場跡地に保管されている汚染土壌

副町長

地に汚染土壌約9万㎡があり、六価クロム・ヒ素・フッ素・セレン等が含まれている。町は把握しているのか。
② そこからの雨水は大滝根川に入り三春ダムに注がれるが、町の水道水に問題はないのか。
③ 町として田村市に安全対策について申入れを行うべきではないか。

① 土壌汚染対策法に係る基準を超える汚染
④ こまりんは役職や職務を担っているのか。
⑤ 今後さらなる活躍を期待するが、体操服

質問

こまりんの 仕事

答

問

があったが、健康被害の恐れが無く、住友大阪セメントが適正に管理していることを、田村市を通じて確認している。
② 込木の三春浄水場南側から大滝根川の表流水を取水しており、

質問

三春町のマスコットキャラクターのこまりんについて、
① こまりんは何歳か、誕生日はあるのか。



しらかわキャラ市に参加しているこまりん

タイプを作ることにはできないのか。

総務課長

① 滝桜が開花した2014年4月11日に誕生した。

町の役職・職務を担っているのか
情報発信の役割を担っている

再質問

浄水場では、汚染物を除去できる機能はあるのか。

企業局長

除去できる機能はある。

② 商標登録費用を含め、約120万円である。
③ 盆踊りや秋まつりなどに16回、団体への貸し出しが8回である。
④ 町のイメージアップに向けた情報発信を行う役割を担っている。
⑤ デザインも商標登録しており、角ばった形とする必要があるため体操服タイプはできない。

視覚障がい者

問 視覚障がい者の情報バリアフリーは

答 情報収集に努め、生活支援に努力



鈴木利一議員



障がい者との共生社会を目指す研修会

質問1

視覚に障害のある人の情報収集は、代読などに頼らないで、多くの情報を取得することが大切である。町内に視覚障がい者は何人が。

保健福祉課長

町内には47名いる。

質問2

活字読上げ装置の利用者は何人か。

保健福祉課長

視覚障害2級以上の方が給付対象で、申請は2名である。

質問3

行政文書への音声コード添付状況は。

保健福祉課長

試験的に添付した

障がい者雇用

問

答

が、正しく読み取れないので導入には課題がある。

再質問

広報誌などに音声コードを入れることで、読上げ装置の普

及を図っては。

保健福祉課長

読上げ装置が活用できるように検証し、段階的に広報誌などに音声コードを添付できるように努めたい。

町の障がい者雇用率は

法定雇用率を上回っている



三春町役場

再質問

2021年には法定雇用率が2.6%に引き上げられるが。

総務課長

退職等もあるので、推移を見ながら障がい者を対象とした職員採用試験も検討する。



活字読上げ装置と内閣府発行の点字・大活字広報誌

※ 本ページは、一つひとつの質問の直後に、答弁を記載しています。



新田 信二 議員

町道修繕 工事課題

問

狭い町道に侵入する大型車両等に
規制が必要ではないか

答

注意喚起の看板等を設置したい

質問

町道整備、補修、舗装の改修工事について、
① 重量車両、大型車両の通行に伴い、破損、ひび割れ等が見られる道路が多い。今後の対応と修繕計画は。
② 歩道がない通学路で道幅も狭い町道に、中型・大型車両が侵入しているため、規制が必要ではないか。
③ 側溝がない勾配地から下流に流れた土砂等が道路、側溝に溜まる箇所の対応策は。

建設課長



道路はひび割れ途中から側溝がない町道

① 町では、公共施設等総合管理計画により効率的、効果的に舗装の長寿命化対策を実施し、緊急性、優先度を踏まえ、応急的な舗装補修を実施している。
② 車両進入禁止等は公安委員会が管理のため、町は注意喚起の看板等を設置するので、相談してほしい。
③ 道路、側溝に詰まった土砂等は、町が撤去している。今後は、事前に土嚢等を設置し、土砂の流入対策を検討する。

長寿社会の 健康づくり

質問

町は第6次高齢者福祉計画「高齢者いきいきプラン6」により、健康寿命日本一を目指しているが、結果と今後の取組みは。

保健福祉課長

高齢者福祉計画の第6次計画は、4つの基本方針として「生きがい対策の推進」「健康づくりの推進と介護予防」「地域における支えあい体制の整備」「介護が必要となった場合の支援体制の充実」を上げ、目標達成のため各種事業に取り組んできた。
今後は、介護が必要になっても安心して暮ら

問

高齢者いきいきプラン6の結果は

答

目標達成のため、各種事業を行った

せるために必要なサービスを確保し、自立した生活を維持できるように、介護予防を図りたい。また、健康寿命

の延伸のため、高齢者が地域社会に積極的に参加できる仕組みづくりに取り組みたい。



「にこにこ元氣塾」の活動のようす

認知症 徘徊対策

問

認知症徘徊対策に
QRコードを使えないか

答

QRコードを含め
効果的なあり方の検討が必要



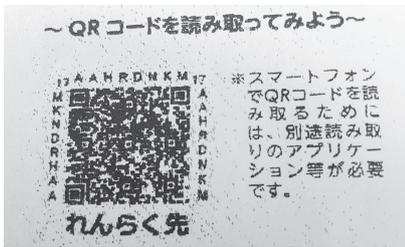
松村 妙子 議員

質問

QRコードが生まれた背景には、認知症などを患う高齢者が行方不明になり、保護されても、自宅へ戻ることができないといった問題や、徘徊する高齢者を探し回るなど、家族に大きな負担がかかるためである。高齢化が進む中で、認知症による徘徊は、家族や地域住民にとっては、とても重要な問題である。町では、どのように認識しているのか。

保健福祉課長

国の推計によると、



QRコード

2025年には高齢者の約5人に1人に達すると見込まれており、徘徊等による認知症高齢者の行方不明数も年々増加している。昨年度1年間に、町の地域包括支援センターに寄せられた、認知症徘徊等に関する相談は7件あった。相談は今後増えると予想される。本人の安全確保や介護家族の負担軽減を図る上で、とても重要であると考えている。QRコードも含めて効果的な見守りのあり方、支え合いの地域づくりの一助として、工夫や検討が必要である。

学校等施設 安全性確保

質問

学校施設や学校周辺の通学路のブロック塀や危険な箇所の点検に基づいて、安全対策を早急に実施して、児童生徒の登下校の安全・安心を確保する必要がある。

- ① 安全点検等状況調査で、問題のあるブロック塀等を有する箇所は何箇所か。
- ② 学校の防災に基づいて、改めて通学路を確認するべきではないか。
- ③ 通学路に面している民間のブロック塀が、安全性に問題がある場合、どのように対処するのか。

答

問

通学路のブロック塀、
登下校の安全・安心の確保は

登下校時における緊急合同点検を実施



子どもたちが歩く通学路

教育課長

① 現地調査を実施した結果、ブロック塀を有する学校1箇所、幼稚園1箇所、ともに問題ない。

② 通学路の安全マップ等を作成し、危険性の

ある場所は、子どもや保護者へ周知している。

③ 老朽化したブロック塀設置を含む危険な場所は、通学路の変更等を行っている。民地に設置されているブロック塀の対処は、関係課と連携し対応策を講じる。



小林鶴夫議員

町営住宅の現状と将来

問

町営住宅39棟321戸の現状は若者向け住宅で人口増加を

答

33棟250戸が入居中 年齢制限等の縛りは困難

質問

- ホームページを見ると、町営住宅は公営が33棟290戸、特定公共賃貸が4棟28戸、町単独が2棟3戸、合計39棟で321戸ある。
- ① 公営、特定公共賃貸、町単独住宅の違いは。
 - ② 入居者は何棟何戸か。入居率は何%か。
 - ③ 耐用年数を過ぎても利用しているのは何棟何戸か。
 - ④ 2、3年で耐用年数となるのは何棟何戸か。
 - ⑤ 公営舞木団地は今後何年利用予定か。
 - ⑥ 舞木団地を将来再建時は、35歳未満の既

ホームページを見る



公営舞木団地

婚者を入居させ、子どもの誕生ごとに家賃を低減し、若者住宅として活用すれば、人口の増加も見込めるのは。

所得が一定範囲以内で家賃は定額である。町単独は国の補助をなしで建設された住宅である。

建設課長

町営住宅の今後の町の方針は。

再質問

町長

① 公営は低額所得者向けで低廉な家賃で、所得が一定水準以下で立地条件や経過年数の他に、所得に応じた家賃が区分され、毎年見直しがある。特定公共賃貸は中堅所得者を対象として

② 8月末現在、政策的な空家を除くと公営は33棟250戸で入居率は97%、特定公共賃貸は4棟21戸75%、町単独は2棟2戸100%である。

私が町営住宅の質問に至ったのは、昨年度の新生児が84人と知り、例年の100余人を割ったからで、そのた

め舞木団地を若者住宅にと考えたからである。

建設課長

舞木団地は、以前1棟解体しており、全体を解体しないと有効活用は図れない。

町長

少子化は学校等各種の課題が生じ、それらの解消のため、小学校区ごとに住宅用地の可能性を調査した結果、今般御木沢地区の四合田に造成を開始し、今後は小学校区ごとの調査結果を踏まえ、各施策を講じたい。



四合田地内の宅地造成予定地

待機児童 解消対策

問

国の保育料無償化による
待機児童増加の解消対策は

答

第2保育所の増改築、
指定管理者制度を導入



影山初吉議員

質問

待機児童対策と第2
保育所の今後の運営に
ついて、

① 町には待機児童が
何名いるか。

② 待機児童の解消対
策は。

③ 国の保育料無償化
による待機児童増加に
対する対処法は。

④ ①から③までの対
策を踏まえ、第2保育
所の今後の運営のあり
方は。

子育て支援課長

① 現在の待機児童は
0歳児3名、1歳児1
名である。



指定管理者制度導入が予定されている第2保育所

② 待機児童の解消は
町の最優先課題であ
り、0歳児保育を実施
している第2保育所を
増改築し、定員増加を
検討している。

③ 国の保育料無償化
により、0歳から2歳
児の待機児童が増加
すると考えており、第
2保育所の増改築に当
たり定員設定を行いた
い。

④ 第2保育所の定員
数を増加しても、保育
士の確保が極めて困難
な状況なため、平成31
年4月より指定管理者
制度を導入したい。

再質問

① 来年4月からの指
定管理者制度導入は
時間的に大丈夫か。

② 指定管理者選定は
公募か、非公募か。

③ 第2保育所増改築

保育所幼稚園 構想

質問

三春町保育所幼稚園
のあり方（構想）につ
いて、

① 幼保一元化の取組み
の策定で進捗状況は。

② 延長保育等の保育
サービス、低年齢児の
対応、子育て支援セン
ターの充実は。

③ 岩江こども園のスケ
ジュールの進捗状況は。

町長

① 平成27年度に第1

は、最小限に抑えるべ
きではないか。

子育て支援課長

① 残り7カ月余りのス
ケジュールで、速やかに
指定管理者選定検討
会を行いたい。進捗状

保育サービス、幼保一元化の 取組みの現状と課題は

地域子育て支援センターの充実と増設

問

答

係る構想を取りまとめ
たい。

保育所に指定管理者
制度を導入し、第2保
育所も具体的な検討に
入っている。

② 平成29年に旧中央
児童館に地域子育て支
援センターを移転し、
午前中のみ利用から
午後3時までの利用が
可能になり、機能の充
実を図っている。

③ 岩江こども園の設
置は、具体的な検討に
は至っていない。今後、
岩江地区に適した保
育・教育環境の整備に

況は随時、議会へ報告
したい。

② 今後、指定管理者
選定検討会で意見集約
を図りたい。

③ 少ないコストで最大
限の効果が発揮できる
ようにしたい。



岩江幼稚園

議会活動日誌

議会活動を広く町民の皆さんにお知らせするため、議会主催の会議・意見交換会、町などが主催して議員が出席した行事を掲載します。今回は、平成30年7月から9月までの議会活動をお知らせします。

なお、簡潔に表記するため、「回数」、「三春」等の文字を省略している場合がありますので、ご了承ください。

7月

- 1日 ・町幼稚園・保育所保護者会連合会球技大会
・消防操法大会三春町消防団・小野町消防団合同消防操法指導会（田村市）
・消防操法大会出場チーム激励会
- 2日 ・郡山広域消防組合議会運営委員会・臨時会（郡山市）
- 3日 ・全員協議会・旧要田中学校等現地調査
- 10日 ・広報広聴特別委員会視察研修（～11日群馬県他）
- 12日 ・県道飯野・三春・石川線整備促進期成同盟会平成29年度収支決算監査
- 13日 ・町老人クラブ連合会長杯グラウンド・ゴルフ大会
- 17日 ・広報広聴特別委員会
- 20日 ・全員協議会
・田村地方市町議会議員研修会・意見交換会
- 21日 ・アメリカ短期留学派遣団結団式
- 22日 ・議会議長杯野球大会
・消防操法大会（田村市）
・消防操法大会選手慰労会
- 24日 ・町小学校水泳交歓会
- 27日 ・葛尾村議会との交流会
- 29日 ・議会議長杯ソフトボール大会
・要田地区球技大会
・市町村対抗軟式野球大会町選手団結団式
・三春の里夏祭り・花火大会
- 30日 ・三春きたまち蔵オープニングセレモニー
- 31日 ・郡山広域消防組合議会視察研修（～8月1日東京）

8月

- 7日 ・全員協議会
- 8日 ・町グラウンド・ゴルフ協会会長杯グラウンド・ゴルフ大会
・東京都町田市議会視察受入れ
- 9日 ・町建設団体からの役場新庁舎建設に係る要望

- 9日 ・ごみ処理施設整備に係る小野町正副議長打合せ（小野町）
- 19日 ・御木沢地区球技大会
- 21日 ・全員協議会
・「花と音楽祭」写真コンテスト審査会
- 22日 ・町村議会正副議長・事務局長研修会（福島市）
・リアルタイム線量測定システム配置見直し説明会
- 24日 ・町職員親和会
- 28日 ・議会運営委員会
- 31日 ・9月定例会（～9月11日）
・全員協議会
・町老人クラブ連合会ゲートボール大会

9月

- 1日 ・市町村対抗福島県ソフトボール町選手団結団式
- 2日 ・町民ソフトボール・家庭バレーボール大会
- 6日 ・議会議長杯グラウンド・ゴルフ大会
- 8日 ・ほほえみの里敬老会
・アメリカ短期留学派遣団解団式
- 11日 ・全員協議会
- 12日 ・町小学校陸上交歓会
- 15日 ・御木沢地区・中妻地区敬老会
- 16日 ・中郷地区・沢石地区・岩江地区敬老会
- 17日 ・三春地区・要田地区敬老会
- 19日 ・町敬老園・あぶくま荘敬老会
- 20日 ・総務・文教厚生常任委員会合同視察研修（～21日山形県）
- 22日 ・うつくしま・みずウオーク三春大会
- 23日 ・沢石地区民運動会
- 26日 ・経済建設常任委員会視察研修（～27日宮城県）
・町光友会グラウンド・ゴルフ大会
- 28日 ・田村地方交通安全対策推進協議会会議（小野町）
- 29日 ・三春幼保園大運動会
- 30日 ・町消防団秋季検閲式
・消防備品引渡式

レポート

総務・文教厚生常任委員会 合同視察研修

住民主体の地域づくり、介護予防・

日常生活支援総合事業を研修

総務・文教厚生常任委員会は、9月20日から21日にかけて、視察研修を行いました。

20日には、山形県川西町の特定非営利活動法人きらりよしじまネットワーク（以下「きら



きらりよしじまネットワークの説明を聞く議会議員

り」という。)による「住民主体の地域づくり」を研修しました。輝けるまちづくりを目指し平成19年に設立されたきらりは、行政に依存することなく、住民が持っている資源を地域

に提供する仕組みづくり、「合意形成」「ひとづくり」「資金づくり」「つながる」を地域づくりの柱として活動していました。また、将来ビジョンを描いた「地域づくり計画」に沿って、生涯学習事業、子育て支援事業、環境衛生事業など幅広く事業を展開していました。日頃から、将来を見据えた地域づくりを進めるため、上手に世代交代するための新しいリーダーの発掘や育成にも力を入れていました。全国のモデルとなるような「住民主体の地域づくり」を研修することができました。

21日に研修した寒河江市は、「介護してもらうより自分でできるよろこびをいつまでも！」を合言葉に、平成27年4月から介護予防・日常生活支援総合事業に取り組み、介



寒河江市ハートフルセンターでの施設見学

護予防の推進、高齢者生活支援サービスの展開、近隣市町との連携による在宅医療の推進など、さまざまな施策が展開されていました。地域づくりによる介護予防事業として、地域の方が身近な場所で行う「いきいき100歳体操」や、貯まったポイントで商品券に交換できる「元気高齢者づくりポイント推進事業」などが行われていました。また、ホームヘルパーを派遣する訪問型サービスAや、指定した事業所でサービスを行う通所型サービスAが充実していました。地域包括ケアシステムの構築に向け、介護・医療、生活支援、介護予防において幅広い活動が展開され、とても参考になる取り組みでした。

視 察 研 修

経済建設常任委員会視察研修

定住促進、ごみ減量化への取組み、

蔵を生かしたまちづくりを視察

経済建設常任委員会は、9月26日から27日にかけて、宮城県色麻町と、大崎市にあるみちのく古川食の蔵「醸室」（以下「醸室」）を訪問し、色麻町を訪問し、定住促進、ごみ減量化への取組みを研修しました。



色麻町議会での研修のようす

では、民間活力を導入しながら人口減少を抑制し活性化を図るとともに、子どもを産み育てやすい住環境づくりのため、地域活性化住宅事業、定住促進宅地分譲事業などの施策に取り組んでいました。

また、ごみ減量化への取組みとして力を入れている「生ごみの3切り運動」と「雑紙の分別収集」は、震災後、ごみの量と処理経費が増加している中で、限りある資源を有効に活用するとともに、環境負荷を少なくし、社会を持続させるための事業であり、町民にも定着していました。

27日は「醸室」において、蔵を生かしたまちづくりについて、現地見学を含めた視察研修を行いました。醸室は、江戸時代後期、寛政2年（1790年）創業の橋平酒造店を再



みちのく古川食の蔵「醸室」の施設見学

活用し、小売業者の集積、市民活動の拠点整備を図り、中心市街地の活性化に資することを目的とした地域振興施設です。敷地内には、大小14の蔵や屋敷が建ち並び、古川の原風景を伝承していました。

また、地域主体でまちづくりが行われ、経営陣である商工業者の経営ノウハウやネットワー

クが、事業運営に大きく生かされてきました。当町でも、現在、蔵を生かしたまちづくりに取り組んでおり、大変有意義な研修となりました。

今後は、当常任委員会として、研修で得た成果を議会活動、町政に反映できるように取り組んで参りたいと考えています。

議長杯ソフトボール大会

議長杯グラウンド・ゴルフ大会開催

第35回三春町議会議長杯ソフトボール大会が、7月29日に町営野球場で開催されました。連日猛暑が続く中、7チームが出場しました。参加選手の皆さんは熱中症に十分気をつけ、こまめに水分を取りながら、チーム一丸となり優勝目指して、一生懸命のプレーを展開していました。

また、9月6日には町営グラウンドで、第8回三春町議会議長杯グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。当日は、さわやかな秋空の下、約120人が参加し熱戦が繰り広げられました。競技は、男女別個人戦・2ラウンド16ホールで行われ、参加者の皆さんは、交流を深めながらプレーを楽しんでいました。

大会結果は次のとおりです。

〈ソフトボール大会〉

- ・優勝 八幡町スポーツクラブ
 - ・準優勝 中郷ソフトボールクラブ
- ### 〈グラウンド・ゴルフ大会〉

- (男子)
- ・優勝 降矢 貞捷・優勝 桑山トミ子
 - ・準優勝 佐藤 義郡・準優勝 箭内さつ子
 - ・第3位 先崎 豊治・第3位 小坂 廸子
- (女子)



グラウンド・ゴルフ大会のようす



ソフトボール大会のようす

福島県町村議会議員研修会に参加

地方議会のあり方・活性化を研修

福島県町村議会議長会主催による議員研修会が、10月23日に郡山ユラックス熱海で開催されました。

この研修会は、地方自治体を取り巻く行財政の課題、地方議会制度について理解を深め、地方議会人としての資質の向上を図ることを目的として開催され、県内町村の議員・職員など約600名が参加しました。

東京大学大学院教授の金井利之氏からは、「地方議会のあり方・活性化について」と題して、自治体議会の現状、議員のなり手不足のメカニズム、注目される議員のあり方、人口減少と自治体戦略などを中心に、様々な観点から講演していただきました。また、日本大学法学部教授の岩井奉信氏からは、「今後の政局・政治展望」と題して、9月に行われた自民党総裁選の総括、第3次安倍政権の人事や今後の政治方針などをはじめ、憲法改正をめぐる議論、経済財政政策による景気動向の変化、今後の政治日程や政局の行方などについて、持論を交えて話していただきました。

講演する東京大学大学院教授の金井利之氏



参加した町村議員は、講師の講演に熱心に聞き入り、自治体議会が乗り越えるべき課題や与えられた役割、人口減少社会での新たな自治体のあり方、今後の政局・政治動向などを学び、大変有意義な研修会となりました。



講師の話に真剣に耳を傾ける議会議員

◆◆◆ 議会の開催予定 ◆◆◆

◆ 議会開催予定

次の議会は12月定例会です。12月3日（月）開会、12月4日（火）の一般質問を予定しています。

◆ 議会開催広報

議会の開催は、議会報号外、議会ホームページ、防災行政無線、役場前掲示板などでお知らせします。
(<http://www.town.miharu.fukushima.jp/site/gikai/>)

◆ 議会傍聴

本会議や各委員会のように傍聴できます。

◇ 本会議

傍聴人受付簿に記載して、議場へお入りください。

団体での傍聴を希望する場合は、事前に議会事務局に連絡してください。また、録音や撮影にはあらかじめ議長の許可が必要になります。

◇ 委員会

議会には、総務・経済建設・文教厚生の中の3つの常任委員会と、町立学校再編等調査・広報広聴の2つの特別委員会があります。各委員会は、委員長の許可を得て、会議を傍聴することができます。



9月定例会での一般質問のようす

◆◆◆ 請願・陳情の手続き ◆◆◆

三春町議会では、町政などについて町民の皆さんの希望や要望を、請願・陳情として受け付けています。

◆ 提出方法

議会事務局（役場4階）へご持参ください。

◆ 受付締切

議会定例会開催日7日前までとなります。

◆ 様式等

特に決まっていますが、次の事項は必ず記載願います。

- ① 件名 ○○に関する請願書、○○に関する陳情書など
- ② 提出年月日
- ③ 提出者住所・氏名・印鑑
- ④ 紹介議員氏名・印鑑（請願のみ）
- ⑤ 請願・陳情要旨
- ⑥ 関係機関への意見書の提出を求める場合には、意見書案
- ⑦ 三春町議会議長宛

※ 陳情については、内規により原則として、町内に関する事項・内容などについて提出されたものを審議することとし、それ以外または郵送によるものは配付のみとなっています。



前回の答え

第 ② (体 育 館)

♪♪♪ 第18回議会クイズ ♪♪♪

問 平成29年度一般会計歳出の決算額は？

○○億6,187万円

…○に入る数字をお答えください…

◆ 応募方法 はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書いて送付してください。正解者の中から、抽選で3名の方に粗品を差し上げます。当選は発送をもって代えさせていただきます。

◆ 送付先 〒963-7796 三春町字大町1-2 三春町議会事務局

◆ 締切日 11月22日（木）（当日消印有効）

※ 前回は9件の応募をいただき、ありがとうございました。

※ 応募いただいた方の個人情報、このクイズ以外の目的には使用しません。

～ シリーズ みはるの子どもたち ～

今回は、第2保育所とL-kid's 保育園三春の子どもたちを紹介します。

第2保育所（頁山地内）



音楽に合わせて軽快に踊る出演者



お姉さんに合わせポーズする子どもたち

その後、遊戯室を少し暗くして、人形劇「つるの恩返し」が始まると、子どもたちは、音楽に合わせた独特の演技や軽快なテンポのセリフに吸い込まれ、真剣な眼差しで見入っていました。一方、踊りや歌のシーンでは、手拍子したり、大笑いして盛り上がっていました。つるの機織りが覗かれる「ラストシーン」では、子どもたちから「だめ、だめ」という声も上がっていました。子どもたちは、楽しくて心温まる人形劇に、とても感動しているようでした。

最初に、劇団のお姉さんのパフォーマンスに合わせ、「いとをまきまき・・・」の手遊びや、「犬のおまわりさん」を歌ったり、おもしろいポーズをして楽しみました。

訪問した9月14日は、全国の子どもたちに元気を届ける公演をしている「劇団バク」による、等身大の人形劇が行われました。



「いとをまきまき・・・」で手遊びする子どもたち

L-kid's 保育園三春（山田地内）

L-kid's 保育園三春は、人を思いやる「やさしい心」と「コミュニケーション能力」の形成を目指し、平成27年4月に開園した定員19名の認可保育園です。

9月18日には、子どもたちに交通安全ルールを覚えてもらうために、運送会社さんの協力により「交通安全教室」が行われました。

簡単な交通安全ルールが説明された後に、車の下にボールが転がり、取ろうとしている間に車が発進してしまうという、危険体験が行われました。子どもたちは、車の周りでのボール遊びは、大変危険だということ学びました。

次に、横断歩道の正しい渡り方を勉強し、子どもたちは、横断歩道を渡るときは、「信号が青になったら、右見て、左見て、もう一度右見て、手をあげて渡ることを覚えました。最後に、トラック運転席への体験試乗も行われ、子どもたちはハンドルを握りドライバー気分を楽しんでいました。



トラックへの体験試乗



手を上げて横断歩道を渡る子どもたち



交通安全ルールの説明を聞いているようす

編集後記

表紙の写真「三春町小学校陸上交歓会100m走」のひとコマ、秋晴れのもと町内小学校児童の親睦、スポーツ意欲の高揚と体力の増進を図る目的の大会へ、私も応援参加しました。走り幅跳びの日本チャンピオンの選手も出場し、2つの大会新記録が生まれたすばらしい大会でした。

私たち議会も児童のみなさんに負けないように議会報を充実させ、理解を得られるよう努力して参ります。

（影山 初吉）

三春町議会 広報広聴特別委員会

委員長 小林 鶴夫
副委員長 山崎 ふじ子
委員 鈴木 利一
委員 渡辺 正久
委員 影山 常光
委員 日下部 三枝
委員 影山 初吉